

第5回通学区域制に関する有識者会議の概要について

1 日 時 令和6年12月27日（金） 午前10時から正午まで

2 場 所 徳島県庁 10階 大会議室（徳島市万代町1丁目1番地）

3 出席者

（1） 委員 17名中15名出席（欠席2名）

（2） 県 教育次長、教育創生課長 ほか

4 議事の概要

（1）事務局から、これまでの議論等について説明が行われた。

（2）事務局から、生徒・保護者等に実施したアンケート結果について説明が行われた。

（3）事務局から、公立高校の在り方の方向性等について説明が行われた。

（4）事務局から、通学区域制の見直しの具体例等について説明が行われた。

（5）委員による意見交換が行われた。

5 意見交換の概要

○「公立高校の在り方の方向性」について、県の人口が減少していく今後の状況を踏まえ、将来の「高校の配置」や「学校規模」などについて、多角的な視点から意見をいただいた。

○高校の特色化・魅力化については、「ICTに特化した学科の設置」、「県外事例を参考にした地域との協働による普通科の充実」といった意見や、「ソフト面だけでなくハード面の検討が必要」、「学校運営協議会を十分に生かすべき」との意見が上がった。

○通学区域制に係る見直しの具体例について、「撤廃時期」、「移行措置」及び「準備期間（並行して）検討すべき事項」など、具体的な手法やそれぞれのメリット・デメリットを整理・提示し、検討が行われた。

○「通学区域制の撤廃時期」については、中学入試等を考慮した令和11年度入試からが望ましく、移行措置については、生徒に対する影響や全県的な観点から、「流入率の変更」が良い、という意見が多数を占めた。

○第6回会議では、主に「移行措置における流入率の引き上げの割合」について議論を行い、今回の議論と併せて、有識者会議の「提言案」としてまとめる方向で進めていくことが確認された。